

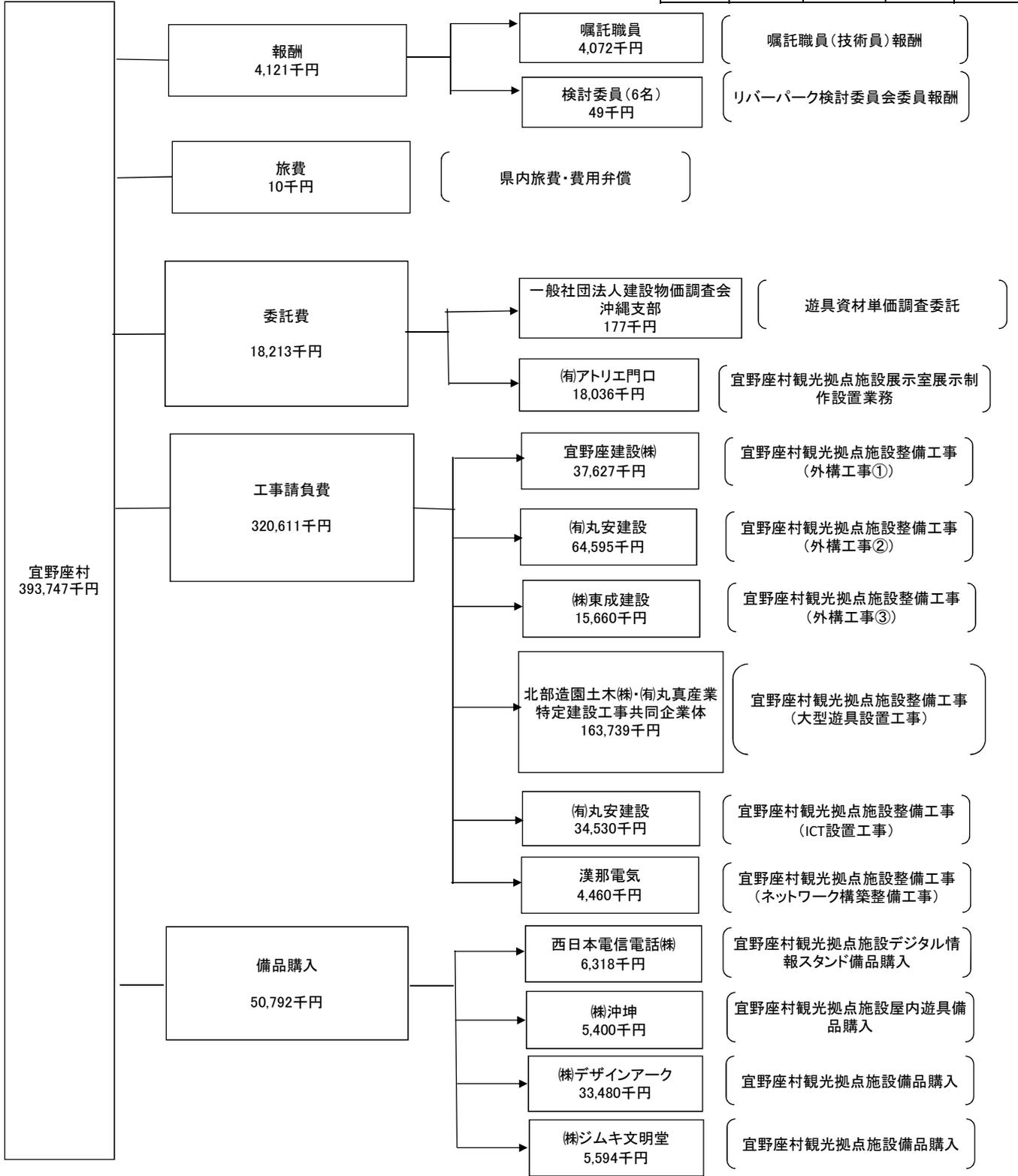
市町村名	宜野座村						
平成29年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	リバーパーク整備事業(観光拠点施設整備)			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	平成23年度に作成した「漢那福地川リバーパーク基本計画」を素案として、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進する。平成26年度、当該計画地の村有地化(公共空地の購入)が完了し、平成27年度は、観光情報拠点施設整備に向けて実施設計を実施した。平成28年度より施設整備を実施する。平成29年度は観光振興を基軸とした地域活性化を図るため、検討委員会にて計画実施にむけての細部を協議し、漢那福地川周辺の豊かな自然を活かした観光拠点整備を推進するため、平成28年度事業で完成した観光拠点施設の備品購入、大型遊具設置、ICT工事を行った。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(30年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H28年度(繰越)	H29年度	H29年度(繰越)	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,427,073	-	314,618	-	
		(b)予算現額	1,427,824	-	393,747	-	
		(c)増減額(b-a)	751	-	79,129	-	
		(d)繰越額	-	873,871	-	82,093	
		A.計(b+d)	1,427,824	873,871	393,747	82,093	
		B.執行済額	553,953	873,871	311,654	82,093	
		うち交付金充当額	443,162	699,097	249,320	65,677	
		次年度繰越額	873,871	-	82,093	-	
		執行率(%) (B/A)	38.8%	100.0%	79.2%	100.0%	
予算の状況の説明	ネットワーク整備の設計変更等手続きに不測の日数を要したため、82,093千円(工事4件、備品購入の一部)を繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	観光拠点施設の整備		目標 (完了)	( )	( )	( )	
達成説明状況	平成29年度に大型遊具、展示室制作を完了し、平成30年度に外構工事2件、設備工事2件、備品購入を完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(30年度)
	観光拠点施設の整備完了		目標	(完了)	( )	( )	( )
			実績	完了			
	【H30成果目標】年間利用客数		目標	( )	(181,000人)	( )	(181,000人)
			実績		201,944人		
進捗説明状況	・観光拠点施設の建設工事は平成30年4月28日から供用が開始され、周辺整備等は平成31年2月末で完了した。 ・年間利用客数については、目標値181,000人に対し、実績値201,944人となり、約112%の達成率となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(観光拠点施設の整備) ・施設の完成により観光客の受入体制が整備された。今後施設の活用に向け、施設機能を活かした誘客活動の展開や、周知活動、目玉となる商品の開発など、地域の観光産業を中心に、地域経済の活性化に向けて来客ニーズに合わせたイベントの実施に力を入れる必要がある。 (年間利用客数) ・観光拠点施設完成に伴う道の駅リニューアルオープンのPR活動や、今回整備した大型遊具等公園設備の充実が県内にて口コミで広がったこと、またインバウンド向けSNSに取り上げられたことが訪日外国人旅行者の来場につながり、目標達成に至ったと考えられる。	(観光拠点施設の整備) ・今後、来場者の増加が予想されるため、駐車場の確保、増設が求められる。 ・インバウンド対策として施設内のソフト整備が必要である。 (年間利用客数) ・イベントの開催や情報発信を強化することで、さらなる来場者の増につなげる。
今後の取り組み方針		
(観光拠点施設の整備) ・道の駅としての機能向上、ソフト面の強化を図る為、関係者や関係団体等と連携した取り組みを推進する。 (年間利用客数) ・今後、2か月に1度の「ぎのざマルシェ」や、年1回の道の駅フェスティバルなどイベントの開催と、SNSによる情報発信を実施し、継続的にPR活動を行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
393,747	393,747	314,997	78,750	0



資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務及び工事の業者選定は、指名競争入札、随意契約により実施しており妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○前年度工事で資材の調達、下請け業者の確保に苦慮し不測の日数を要したことから今年度まで影響し、繰越工事の要因となったが、当初計画していた事業規模としては適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	